

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

私は、併願^{できる}推薦と薬剤師になれる点で同志社女子大学に魅力を感じ、受験することに決めました。

受験勉強の進め方【1学期】

1学期では、基礎を固めるよう努めました。英語は、移動中に英単語を見たり、毎日1つ長文を読むようにしていました。英単語などの暗記は回数が大切なので、ずっと同じ単語を見て時間をかけるより、単語50個をいきに見ることを繰り返すようにしていました。長文は、解いた後に、重要単語や知らなかった単語の確認、この文はどんな訳だったか、文の構造はどうなっているか、数日後に解いた文をもう1度読んで理解できるかなどを試していました。

受験勉強の進め方【夏休み】

夏休みでは、まず計画を立てることから始めました。数学であれば、どの分野が苦手なのか、出題傾向なのかを今までの模試の結果を利用して探したりして、夏休みの間に勉強したい内容を紙に書きました。次に、1日1日の計画を立て、紙に書き出した内容が出来るように設定しました。計画通りにいかなかった場合は、計画を変えて勉強を進めました。自分の感想としては、課外や塾の授業は取り過ぎないほうが良いと思います。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

この時期は、体調に特に気を配っていました。受験が近づくにつれて、焦りや不安が大きくなっていき、実際体調を崩していました。体調を崩さない程度に、無理しすぎないように行動すべきだと思います。

また、赤本も解き始めました。夏休みの時点でのような形式なのかなどを確認するためにも併分解しました。間違えた問題はノートにまとめたり、教科書などを見直したりしました。ノートは、入試前日に見返して活用していました。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

受験期に最も気を付けていたのは体調管理です。体調が崩れてしまうと肝心の勉強もするどころか出来ず時間が無駄になってしまいます。睡眠時間は7時間はとり、夜寝る前にストレッチなどをしてリフレッシュするなど、気分転換も大事にしていました。また、勉強面で気を付けていた事は、時間を計る、計画を立ててから勉強を始める、携帯は目につかないところに置く、場所を変えて勉強をするなどです。勉強を始めたくない時は、いすに座るだけ、参考書を開くだけなど、ハードルを下げて過ごしていました。

受験生のみなさんへ

推薦Sのメリットは、早くから受験したい大学に一直線に向かい、より99%の入試に挑戦することが出来る点です。推薦Sに合格することができれば、最後まで高校生活を有意義に過ごすことができます。受験機会を増やすことは納得のいく受験にするための1つの方法だと思います。少しでも参考になれば嬉しいです。最後まであきらめず頑張ってください。

